



2016年7月発行 第33号 / 3号



- 『伝統』に関する書籍の誕生！
- 2016年度 WSC・中国の不思議なめぐりあい
- NA ワールドユニティデイ ——— 2016年9月3日



世界中で 読まれている NAの定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

2016年度のカンファレンスが終了し、わたしたちはまたこれから2年後のカンファレンスに向けて歩みだした。今回のカンファレンスでは、伝統に関する新しい書籍である『ガイディング・プリンシプルズ：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』が圧倒的多数で承認された。この本をつくるためにNAは一丸となって取り組んだのだ。そのことを忘れないために、NA Wayマガジンでは今月号から何号かにわたって書籍誕生までの画期的な作業についてとりあげていく。それによって、メンバーやグループやサービス機関のみなさんにこの本を活用する方法を考えていただくことにしたい。正式な発行日はまだ決まっていないので、新しい情報が入り次第、NA Wayマガジンの誌面とNAのホームページ na.org でお伝えしていく。そのほかにも、今月号にはWSCによる審議内容や決定事項、WSCで出されたアイデアなどがたっぷり掲載されているが、さらに詳しく知るには、NAWSニュース [NAワールドサービスによる会報] とワールドサービスカンファレンスに関するウェブページをご覧ください。

なお、何度かお知らせしておいたことだが、NA Wayマガジンでは重複する予約購読のデータベースを削除した。これについては、8ページをお読みいただきたい。

最後に、NA Wayマガジンはみなさんの回復をわかちあう定期刊行物であることもまた、忘れないようにしていきたい。みなさんの経験と力と希望を文章やアート作品などによって伝えることは、ミーティングやスポンサーシップやサービスにかかわるなかでのわかちあいと同じく、メッセージを運ぶことになるのだ。投稿に関することは naway.org をご覧ください。Eメールによる電子文書 (doc/docx, rtf, jpg, gif, pdfなど) naway@na.org でも、ファクス818.700.700でも、郵送PO Box 9999, Van Nuys, CA 91409でも、投稿手段はいろいろある。さあ、自分の思いをどんどん伝えよう！
ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	2016年度 ワールドサービス	
•先を行く仲間		カンファレンス	10
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	グループ紹介	12
わかちあい	5	• 自然のふところ、回復を楽しむ	
• 中国の不思議なめぐりあい		• ミッド・アメリカのキャンプファイヤーを囲んで	
NAのステップとサービスによって成長する		フェロシップ ディベロップメント	15
•リーディング・カードがあればこそ		ワールドユニティデー	17
得をしたら、おすそ分けしよう！	8	Calendar	18
正直さ+信頼+善意=一体性	8	NAWS Product Update	19
『ガイディング・プリンシプルズ：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』	9	Coming Soon	20

Electronic subscribers can click here for additional content.

<表紙の写真> ミッド・アメリカ [中部アメリカ] リージョナル キャンプアウト
撮影：ティム・S (アメリカ合衆国/カンザス)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

先を行く仲間

僕は今、とても充実している。今日も、刑務所に行ってスポンシーと会い、2時間ばかり受話器を耳にあててガラス越しに話をする。これまで、そうやって一日の大半を過ごしてきた。やつはNAにつながって間もないころに僕のスポンシーとなり、すぐにリリースしたが、それからスポンサーシップは続いていた。そして3年のクリーンタイムを祝ったところで過去のツケが回ってきて、刑に服することになってしまった。やつはいったんカリフォルニアに送還されたが、2年ほどしていくつかの裁判を受けるために再びこちらに移送されてきたのだ。これでもう、電話や手紙のやりとりではなく、受話器による面会ができるようになった。やつは、今もクリーンだ。事実、来週の土曜には、6年のクリーンタイムを祝うことになる。そうやってここまで続いたスポンサーシップでは、やつよりも僕の方がいただくものが大きかったにちがいない。

僕は、やつが新しくきた仲間であったときから歩みが速いことに注目していた。この僕もいつかは、友人のグラントから「先を行く仲間」などと呼ばれたりしていたので、やつのスポンサーになってまたもや先へ先へと進もうとした。すると、決まったようにやつの目がどんよりとしてくるのだった。それで、僕はぐっと踏みとどまり、やつが今の段階でできることに歩調を戻すことになる。使わないでミーティングに通いながら、NAの仲間とかかわって回復の道に踏み出していくんだ。そうやっていれば「自分のアディクションに対して無力である」ということについて理解も深まる。なるべくまっとうなことをしろ。僕と連絡を取りあって、使わないようにするんだ。気持ちが萎えたら、気を取り直してミーティングに足を運べ。じゃ、ミーティングで会おう。

教育の場というなら、やつは並外れた運動感覚知能の持ち主だ。つまり、行動家でスポーツマン。活発に動き回って知識を積み上げていく。それは、僕のような聞きかじった知識ではない。僕なら一を聞いてすべてを把握しようとし、ああでもないこうでもないで理屈をこねくり返す（回復の道を歩み出してもそんなことをしていたので自滅しかけ、1年のクリーンタイムを手にするのに2年を費やした）のだ。僕はやつがスポンサーになってすぐ、その行動力に気づいたので、いろいろな活動やH&I〔病院施設に関するサービス〕にどんどん参加するように励ました。だが、動き出ししまえば、もう励ますまでもなかった。やつは、長らく廃止状態になっていたNAのソフトボールリーグを復活させ、運営者とコーチを兼任するようになった。クリーンになって1年が過ぎると、僕が毎週開いていたホームレスの収容施設でのミーティングに同行するようになり、1年間にわたる役目を僕が果たし終わると、そのままやつが引き継いだ。スピーカをそろえて毎週必ずミーティングを開くというのは、やつのはまり役。まさに水を得た魚のようだった。

一方、スポンサーシップでは、どういう行動をとったかということよりも、どうしてそのような行動をとることになったのかということの方に焦点を当てながら、ゆっくりとステップワークに取り組んでいたのだが、やつが回復の道を歩むことで成熟していくにつれて、ステップに関する会話や指摘はズバツと核心をつくものになっていった。そしてミーティングやソフトボールや、さまざまな活動や、H&Iのサービスからなるやつの人生には、ソクラテスの言う「人生の諸目標への考察」（NA流に言えば、プログラムに取り組むこと）によって得たことが組み込まれていった。また、第5ステップをすっかりやり終えることによって、やつと僕は信頼と親密さによって結ばれていった。それは、クリーンで生きてプログラムに本気で取り組んでいこうとする人間同士の間にも生まれるきずなだ。しかし、ステップ5を終えたことで、僕はやつがどのような生き方をしてきたかを知ったわけだから、やつの社会生活に今回のような中断が訪れることがあってもおかしくはないだろうと思っていた。

そこへある日、やつから万事休すだという連絡があった。ついに年貢の納め時がきたというわけだ。やつはパトカーの後部座席に乗せられていたが、なぜだか、まだ携帯を所持していた。人生は終わったようなものだから、どうしても別れを告げたかったのだろう。

深い話になっても、
試練が身になっている
やつの目には、
生彩があった。

こうしてやつは投獄された。僕は、せいっぱい励ました。ここであきらめるな。回復の道で得たものを大事にして、頑張れ。すぐにも連絡を取ろう。いいか、これこそがステップ1だ。何もかもがぶちこわしになってつらいときこそ、降伏するんだ。

それから、すでに3年がたった。やつが自由になるまであと5年というところか。今日の面会では、ステップワークとスピリチュアルな目覚めについて突っ込んだ話をした。やつがNAにつながったところには絶対に触れることがなかった事柄についても、今ではどちらにとっても関心のあることとして掘り下げていった。こうして深い話しになっても、試練が身になっているやつの目には生彩があり、行動の仕方や振る舞い方のみならず、座して存分に生きる方法をも知っている人間の成熟があらわれていた。これは誇張でも何でもなし。僕らはみな、回復に道を歩むなかでそれぞれの人としてのあり方にしっかり取り組むことになるのだから、まさにやつのなかでステップ11は健在だった。6年という年月がまったく無駄ではなかったことは、やつの心に目覚めたものによって明らかだった。

歩むべき道を歩んでいけば、僕らは行き着くところに行き着く。そして、行き着く先を自分で決められることもある。僕の場合、今日2時間ほどあの刑務所にいるかどうかを選べる立場にあった。やつの場合は、あそこにいることを選べたわけではないが、自分の置かれた状況のなかで自分の進むべき道を選ぶ自由はあった。その選択の積み重ねによって、やつはあるべきところにあるべき姿でいるのだ。そうして人生にもたらされるさまざまな贈り物に感謝しつつ、日々、深い自由を選び取っている。それを見るにつけ、僕はやつのことをこの上なく誇りに思う。

やつをみていたら、自分がどういう人間でありたいのかわかった。どんな逆境にあっても、現実を直視して自分を高め、さらに自由の度合いを深めようとする人間だ。でも、たとえ僕がそうなりたくても、やつほど楽しげに行動してつねにぶれない存在でいるなんて、とても無理だろう。だから、僕にはやつを越えることなどできやしない。かつて回復の道でつい先走りがちだった僕は、「先をいく仲間」という言い方からかわれていたが、その僕が今こうして実物を目の当たりにすることになったのだ。

ロン・H (アメリカ合衆国/ニューメキシコ)

www.na.org/subscribe

The NA Way Magazine
NAWS News
Reaching Out
NAWS Email Updates
Just for Today
daily email

e-subscribe:
no printing costs
no mailing costs
direct email delivery

ベーシック・キャプション・コンテスト

※ベーシック・キャプションとは「ツボを押さえたひとこと」です

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック[漫画]のキャプション[短い説明文]を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るというのも、なかなかいいものでしょう。

申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようお願いいたします。

アート作品： ペン・C (アメリカ合衆国/メリーランド)



中国の不思議な めぐりあい

この世には、不思議なことがあるものだ。数年前、俺がシベリアへ行く途中に北京である女性と出会ったのも、そのひとつだった。俺はせっかく北京を通るんだから、ミーティングがないか、回復の道を歩むアディクトがないか、と聞いて回った。その結果、ミーティングは一つもないとわかったけど、知り合いが自分の連絡リストに探りを入れてくれたのだ。すると俺のところに、北京に住むアディクトであるという女性からメールが届いたので、通訳を同行して会う手はずを整えた。

これは、すばらしい出会いになった。やってきた女性は、クリーンになって8年になるということだった。俺はアジアパシフィック [アジア太平洋地域] フォーラムに何度も足を運んでいても、中国にそんなに長くクリーンでいるメンバーがいるなんて耳にしたことがなかったから、この女性にどうやってクリーンになったのかとたずねた。女性は、刑務所に入れられていたときに、刑務所の所長の机に『NAのホワイトブックレット』が置いてあるのを目にしたのだという。これは何ですかときくと、所長がそのブックレットをくれたから、書いてあることを読んで、「これなら、わたしも薬をやめられる」と所長にいったそうだ。そして

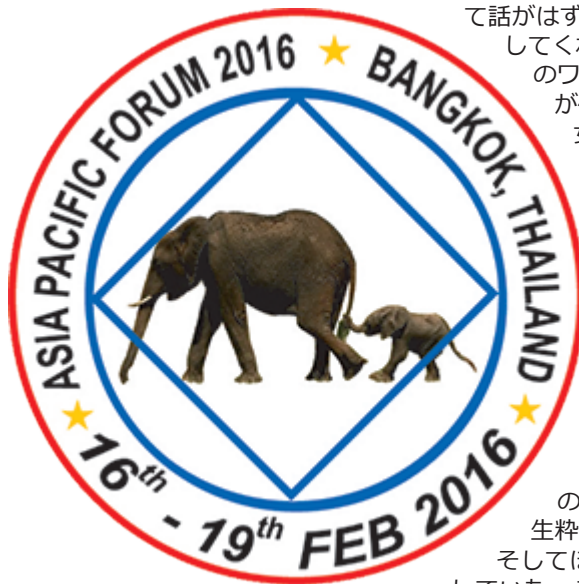
話がはずみ、俺がこの会話をビデオに撮らないかという、女性は賛成してくれた。それで、カリフォルニアのサンディエゴで開催されるNAのワールドコンベンションで公開すれば、ここに録音したメッセージが何万人もの回復の道を歩むアディクトに伝わるだろうという、女性もそうしたいといってくれたので、ビデオはWCNA 34で公開された。いつの日か、中国のいたるところで、NAのミーティングが開かれるようになるだろうと、北京の女性が伝えた希望のメッセージは多くの人々の心に届いたのだ。

そして時は、今年の2月へと進む。タイのバンコクで開かれたAPF (アジアパシフィックフォーラム) でのことだ。俺が開会式の会場に入っていくと、ちょうど、北京で会った女性が自国の報告をしているところだった。あれから何年も経つが、この女性とはまったく連絡をとりあっていなかった。それでも目が合ったとたんに、あふれでてくる感情というのがお互いのなかにあった。

だが、この再会よりもさらに魔法を見るようだったのは、この女性が中国本土を代表して出席していたことだ。しかも、生粋の中国人メンバーがAPFに出席するのは初めてのことだった。そしてほかにももうひとり、香港からも中国人の女性メンバーが出席していた。このふたりは、今回のAPFの会議に出席するまでお互いのことを知らずにいたが、もうすっかり親しくなっている。

俺は、ときどき疑問に思う。自分はずいぶん、こうしていつまでもNAのサービスに深入りしているのか。それほどまでに情熱を燃やし続けるって、どうということなのか。もう、聞くだけ野暮だな。

トム・M (アメリカ合衆国/ハワイ)



NAの12ステップと サービスによって 成長する

仲間みなさん、こんにちは。ありがたいことに、アディクトのぼくは回復の道を歩んで9年半になる。ぼくは、どうしても使わなければならない理由があったわけじゃない。なんでこんなことになったのか、わからないんだ。最初のころは使ったりゴキゲンだったけど、年月を経るにつれて、それだけじゃすまなくなっていく。とうとう薬漬けになったあげく、何もかも失った。家族も、友情も、恋人も、仕事も、金も。だからといって、いまさら使い方の話をしてはじまらないから、ぼくの回復について書かせてもらおう。回復の道を歩みはじめたころ、ある夜にぼくは奇妙な夢をみたんだよ。クリーンになってしばらくたったところで、NA Wayマガジンに投稿する記事を書く夢だった……というわけで、話を進めよう。

ぼくのメッセージは、シンプルだ。ぼくは使わなければいけないわけじゃない。なにがあるうと、一日をクリーンでいる。このプログラムを生きることによって、一日また一日と、ぼくはクリーンにとどまる。ナルコティクスアノニマスのプログラムは完璧なので、ぼくが今さら完璧であろうとするまでもない。あるがままでいってことだから、ぼくはシャイで、抜け目がなく、ときどき傲慢になるかとおもえば、言いたいこともいえずなくなってしまうときもある。でも、「平安の祈り」で唱えるように、ぼくに換えられるものは変えることができるんだから、自分の欠点にも取り組んでいく。

ぼくはミーティングにきちんと通って、自分の話をし、スポンサーと12のステップ（現在はステップ11）に取り組んでいる。ぼくを信頼してくれる人たちがいるから、その人たちのスポンサーをしてサービスにもかかわっているんだ。

ただ、ずっとそうやって歩んできたというわけじゃない。自分はもうすべてわかったからNAに通うまでもないと思ったこともある。だが、ほんとは、こういうときこそ謙虚にならなきゃいけないんだ。ひとりではクリーンの状態にとどまれないんだから、NAには通う必要があった。リラプスについてはいろいろと耳にした。再び使ったら、やめられなかったという話だ。つまり、通うも通わないも、ぼくの自由なんだ。孤独を感じたら、ぼくはNAの無条件の愛に触れに行く。ぼくが孤独になりたがっているときには、仲間がハグしにきてくれる。

回復の道を歩み出したとき、ぼくはリハビリセンターに入所していた。ミーティングに行かなくてはならないことは、そこで学んだ。治療がすんでからNAミーテ

ィングに顔を出すようになり、NAが自分にぴったりの場所だとわかった。それからしばらくして恋人ができて一緒に暮らすようになったんだけど、ぼくがステップ1に取り組み始めたとき、恋人にガンが見つかった。恋人は2度の手術といろんな治療を受けることになったため、ぼくはせせせとミーティングに足を運ぶことにした。このことが、ぼくのステップ2になった。

ぼくは朝になるとすぐつらくて、その日をクリーンで過ごすのがおぼつかなかった。NAのミーティングや、スポンサーや、回復の道を歩むアディクトたちを利用して、ひとりにならないようにした。だが、ある日、このままだと気が狂って自殺するしかないと思った。ぼくは必死に祈った。でも、どうにもならない。まずいことになった。どうしようか途方に暮れるばかりだったのが、しばらくすると、ぼくはクリーンで回復の道を歩む解放感のなかにいた。だから、もう苦しくはなかった。ステップ3はこんな具合だった。でも、それじゃNAではゆだねたことにならないのかな。ぼくは、本気で神を信じてはいなかったし。無神論者なので、「神」という言葉を口にするのはものすごく抵抗がある。ただ、この世には自分など及ぶもつかないほど大きくて強いものがあるのはわかっている。それさえわかっているれば、十分だ。ぼくは毎日祈ってるわけじゃないけど、生きていけば、祈ることだってあるさ。自分

やるべきことをやるのが、 このプログラムなんだ。

のすべきことをしていれば、それが自分より偉大な力に対する祈りになる。この偉大な力はぼくのことをよくご存じのはずだから、こんなぼくでもきつと受け入れてくれるだろう。

そうこうするうちに恋人がよくなったので、ぼくは歩みを進めて第4ステップと第5ステップに取り組んだ。自分が自由への扉を開いたように感じた。そうなれば、また夢をみることでできる。夢だって？ NAにつながるまでは悪夢の連続で、夢なんかもてたためしがないのに。回復の道を歩んでいけば、こうやっているんなことが変わっていく。だから、ぼくは今も変わらずステップに取り組んでいる。

NAで回復するうえで、いちばん大事な要素は何だろう。ぼくの場合はなんたってサービスだ。それで、いつも何かしらサービスにかかわった。役に立つこととしてぼくはときどきまちがったこともやったけど、一番大事なものは12の伝統に従うことだった。何が言いたいかというと、ぼくはステップに取り組むだけでなく、伝統についても書かれたものを読んで理解を深めようとしているってことだ。これはもう、ぼくにはすごく大事なことなんだ。

第9ステップをやるにあたって、ぼくはWSOに手紙を書いた。ナルコティクスアノニマスに対して何度かまちがったことをしてしまったから、埋め合わせをするのに何か方法はないかと思ったんだ。ミーティングで読み合わせをしているときに、ぼくは隣に座っている仲間とひそひそ話やウワサ話をしてたし、献金箱にお金を入れなかったこともある。さあ、どうしよう？ 何かしらの埋め合わせができないだろうか？ WSOからの回答は、ステップに取り組んで過去の過ちをわかちあいながら自分の行いを変える努力をして、NAの役に立つことをすればいいというもの、とても助けになった。今になってみると、自分ごときがNAのように大きな存在を傷つけたと思っていたなんて、お笑いぐさだ。

なにはともあれ、その「重要さ」にかかわりなく、ぼくはサービスにかかわっている。やるべきことをやるのが、このプログラムなんだ。12の伝統と12のステップを通して学んだNAの原理によって、ぼくは日々を乗り切ることができている。自分が昔よりずっとまじな人間になっていると思うと、気分もいい。これまでとは違う考え方をしていれば、ぼくは成長することができるんだ。

このペーチという街では、クリーンになって5年をすぎたメンバーの多くがNAから離れていってしまう。つねに先頭を歩んですぐ前向きな話をするなんて、なかなかできるもんじゃないよ。とくに、トラブルを抱えている場合にはね。クリーンタイムが長くなってきたメンバーにもなにかしてあげなくちゃ。長い間に経験する問題やその解決策をテーマにしてわかちあえるミーティングがあればいいのかもしれない。というわけで、ペーチには、何年も回復の道を歩んでいるメンバーたちのために新しいミーティングが誕生した。もちろん、NAのミーティングは12の伝統にそったものでなければならぬから、アディクトであればだれもが参加できる。こうして始まったミーティングは、すぐうまくいっている。いつも日曜の朝に開かれ、ステップワーキングに関するミーティングになっているので、それぞれの12ステップにまつわる話をしてるんだ。このグループには、「ユニティ（一体性）」という名前がつけられた。

ぼくがNAにつながったとき、ペーチのNAでは週に3回か4回のミーティングが開かれ、参加者は6~10人くらいだった。現在では、毎週10回のミーティングが開かれ、参加者も25人~40人くらいいる。NAはいたるところで成長する……
……土壌さえあればね。

ゾルタン・I（ハンガリー／ペーチ）

リーディングカードが あればこそ

NAでは、リーディング・カードを読んでミーティングを始める。これは、すごくいいと思う。なかでも、「あなたが何をどのくらい使ったのか、どこから入手したのか、過去にどういうことをしたのか、金持ちか否かなどということに私たちは興味を持たない。私たちに興味があるのは、あなたが、いま抱えている問題をどうしたいと思っているのか、私たちはそれをどうやって手助けできるのかということだけだ」という部分が、おれのお気に入りだ。

おれは治療施設にいたときに、アルコールリズムやアディクションについて全般的なことを教わった。治療施設ではこの2つの問題を一緒にたにしていたが、おれには別のよう思えた。そもそも当時は、「飲んだくれ」であることはサイテーだったが、ジャンキーであるのはかっこよかったのだ。おれにはそういう考えがまずあって、しかも実際に薬物の問題を抱えていたわけだから、おれの気持ちはNAの方に大きく傾いた。

そして、おれは治療施設を退所して初めて参加したミーティングで、そんな考えに追い打ちをかけるようなことにでくわした。それは、NAではない方の集まりによるミーティングだった。スピーカは、プログラムにつながって100万年にもなるかというメンバーで、いきなり「andas [アングス]」について発言した。これはアルコールの集まりであって、「andas」の集まりではないというのだ。それがまたえらく熱っぽい語り口で、このメンバーにとってはどうしても伝えなければいけないことらしかった。

新入りのおれには、何を言ってるのやらさっぱりわからなかった。それで、ミーティングが終わってハーフウェイハウス [中間施設] に帰る車には、このプログラムにつながってだいぶ経つメンバーや少なくとも3ヶ月はたっているようなメンバーが同乗していたので、おれは「andas」って何のことだ? ときいてみた。すると、「アルコールであってアディクトでもあると名乗る連中」のことだと教えてくれた。これには参ったね。おまえの来るところじゃないと言われて、どうすりゃいいんだ? おれは、気持ちのやり場も身の置き所もなかった。

次の夜、おれはNAのミーティングに行った。そして「あなたが何をどのくらい使ったのか・・・」などということに私たちは興味を持たない」という言葉を耳にしたわけだ。おれは自分に言い聞かせた。ここが、おれの居場所だってね。あの言葉で、おれがくるとのみんなが心待ちにしていたとわかったんだ。だからがおれの体に手を回して「もう大丈夫だよ」といつてくれたようで、安らかな気持ちだった。そういう気持ちでいられたら、ちょっとやそっとではくじけなくなる。あの言葉によっておれはNAにす

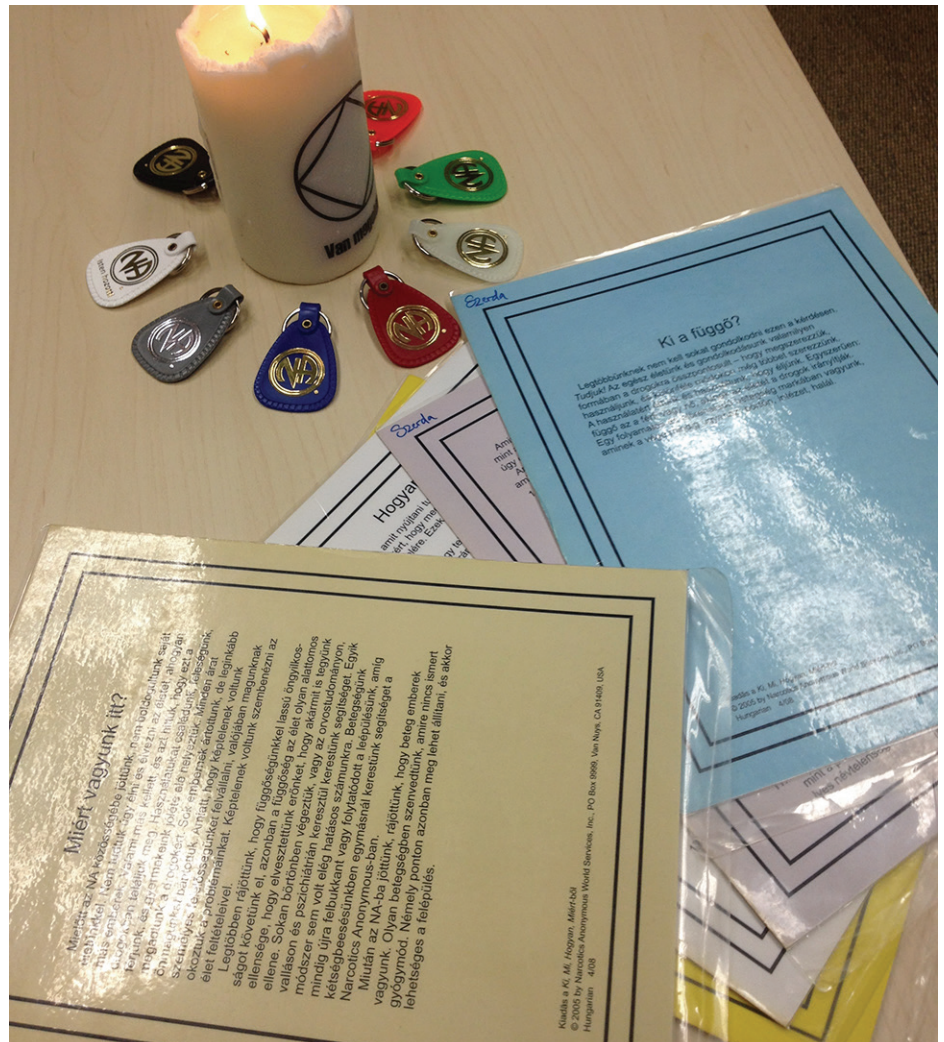
っととどまることができたから、死なずにすんで、生き方や行いを変えていけたんだ。おれの居場所になったのは、どんなアディクトにも手を差し伸べて力になろうとする信じられないようなところだった。

そんな安全地帯にも、この24年のあいだにはいつのまにか変化が訪れたらしい。おれがつながったときにはアディクトであるというだけでよかったのが、今では、何を使っていたか、どういうタイプのアディクトであるか、どんな言葉づかいをするかということが、気になって仕方がないメンバーがいるのだ。これまで何度となくミーティングに出てリーディングカードに込められたメッセージを耳にしてきたが、昨夜のおれには、その明らかでわかりやすいメッセージがこれまで以上に身にしみた。とっさに、ここで一言かましてやろうかと思った。嫌みたっぶりに、あるいはねちねちと、さもなきやズケズケとまくしたててやれば、みんなにおれの考えが伝わると思ったわけだ。昔ならそうしていただろうが、昨夜は深呼吸をしておさめた。おれが戦士となる時代は過ぎたんだろうな。

それにしてもなんで、こういう話し方をしるとか、こんな言葉を使えとか、いわれなきやならないんだろうか。そんなことで一体性が育っている様子もないし、むしろ対立のお膳立てをしているように思えてならない。NAのプログラムは、アディクトであっても薬物を使わないでいられるという考え方に基づくものだ。「アルコール [アルコール依存症者]」や「ソーパー [しらふ]」という言葉が聞かされて、アルコールのほかにも薬物の問題を抱えていると教え込まれている人たちがやってきたからといって、NAのプログラムが変わるわけじゃないだろう。

NAの『ベーシックテキスト』の「序文」には、「NAは、アルコールクス・アノニマス [A A] のプログラムを取り入れている。私たちが薬物に依存していたように、アルコールに依存し希望を失っていった百万人以上の人々がA Aで回復している。新しい生き方を示してくれたA Aに対し、私たちは心から感謝の気持ちを伝えたい」と書かれている。これを読むと、おれたちはこのプログラムことを学んでNAをさらにすばらしいものにすることができるのだと思える。だから、NAではどんな薬を使っていたかに関心をもたないという一節によって、おれたちはどんなアディクトであつても力になれるのだと思えてくる。

アル・A (アメリカ合衆国/フロリダ)



撮影: ソルタン・I (ハンガリー/ペーチ)



得をしたら、おすそ分けしよう！

NA Wayの予約購読に変更があるのを、お忘れなく！！

NA Wayマガジンでは、ここ何号かを通じてみなさんにインターネット版NA Wayの予約購読をうながし、それによって私たちが経費の削減に取り組むということをお伝えしました。これに応じて、インターネット版の購読を決めてくださったみなさん、本当にありがとうございました。ただ、それでもまだ「重複する」予約購読がなくなり紙版とインターネット版の両方を希望するメンバーがたくさんいたのですが、その多くは、誤って入力されたためか、さもなければ紙版を中止しないままでインターネット版に切り替えたためではないかと思えるものでした。

そこで、私たちはNA Wayの予約購読のデータベースを整理するために、重複する紙版の予約購読を打ち切らせていただきました。ただし、私たちは紙版の予約購読を完全に打ち切ることはありません。これからも紙版を必要とする読者は、データベースの整理が済んだあとで再予約の手続きが可能でです。なお、重複する予約購読をしていた読者のみなさんには、今回の変更にあたって事前にEメールで紙版の打ち切りをお知らせしました。みなさんは、インターネット版のNA Wayによって紙版にはない記事を楽しみながら、私たちが現在進めている経費削減の取り組みに寄与することになるのです。

参加方法が決まったら、www.na.org/subscribeでお申し込みください。

(件名「得をしたら、おすそ分けしよう」のEメールnaway@na.orgでも申し込みめます)

今後とも、NA Wayマガジンをよろしくお願いします。

正直さ + 信頼 + 善意 = 一体性

ワールド サービス カンファレンスの開催前日には、NAワールドサービスと、ウェストエンドエリアならびにカリフォルニア ユース コミティの主催によるイベントがあり、ワークショップ、スピーカーミーティング、ダンス、インターナショナル NA マーケットなどによってみんなが心をひとつにしました。今年開かれたワークショップのひとつ（「正直さ+信頼+善意=一体性」）は、この3つのスピリチュアルな原理とからめてサービスで経験する具体例を共有できるため、カンファレンスの出席者にも地元のメンバーやよそから訪れたメンバーにも好評でした。そして、リージョナルデリゲートからGSRや新しい仲間まで、世界中からやってきたメンバーたちが少人数のグループに分かれた話し合いでは、以下のような質問についてわかちあいが行われました。

1. 自分は、サービスにかかわるなかで正直さ、信頼、善意、一体性という原理をどのように実践しているか。
2. そうして学んだことや経験したことは、ほかのサービスの場で共同作業をする際にどのように活かされているか。
3. 自分たちのサービス機関に正直さ、信頼、善意、一体性という精神を生み出し、維持していくためには、具体的にどのようなことができるか。

このような問いかけをすることで、みなさんも、みなさんのサービス機関やホームグループでも、きっといろんなアイデアがひらめいて話し合いが活気づくことでしょう。何人かによるグループでこのような問いについて話し合ったなかから、みなさんが個々に考えたことや、得られた成果や、気づいたことなどを naway@na.org で共有しましょう。

[Click here for a questions/notes sheet to use to capture your thoughts and discussions](#)

『ガイディング・プリンシプルス： ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』

『ガイディング・プリンシプルス：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』は、2016年4月26日にNAワールド サービス カンファレンスによってNAの新たな文献となることが承認された。今回誕生した文献は、多くの点で画期的なものだ。そのひとつは、NAの回復のプログラムによって示される原理と、私たちがグループやサービス機関で努めを果たす方法とが混在していることである。また、「個人の回復はNAの一体性にかかっている」という指針は伝統1によって示されると同時に、世界中のNAでメンバーやグループやサービス機関がこの本によって一貫して取り組む課題となっている。ただし、『ガイディング・プリンシプルス』が画期的なのは内容だけにはとどまらない。実際に、なにがどう画期的なのかということについては、10月号のNA Wayマガジンでさらに詳しく考察していく。今月号では、この本のプロジェクトを立ち上げて、制作を進め、完成に至るまでのことをみていこう。

この新しい文献が誕生していく過程は、内容と同じく多くの点で画期的なものだった。では、始まりからみてみよう。2010年度のWSCで、あるリージョンからワールドボードに対して、伝統に関するワークブックをつくるためにプロジェクトプランの作成を指示する動議が提出され、これが可決されたことによって「『伝統』に関する書籍のプロジェクト」が策定された。また、これとは別に、すでにワールドボードの方でもNA全体による文献調査を行っており、長編の書籍では伝統に関するワークブックが最も強く求められる文献であるという調査結果が出ていた。このようなことから、本の構成や内容に関するNA全体の意見も期待も実に多岐にわたっていると考えられたため、2012年から次回カンファレンスまでの2年間は、いきなりワークグループを結成して原稿作成に着手するのではなく、まずNA全体から意見を収集することに費やされた。

この2年間に収集された意見は、ワールドボードによる評価を経てさっそく2014年のカンファレンス アブルーバル トラックの資料に概要が掲載された。そして2014年度のWSCでは、原稿作成に着手するワークグループの結成をはじめとして、次回カンファレンス開催までの2年間にわたる『伝統』に関する書

籍のプロジェクトプランが再度決議された。また、今回はテクノロジーを有効活用して作業が進むようにする方法を探そうということになり、さまざまなアイデアがプロジェクトプランに盛り込まれた。

こうして作成された原稿は、本の内容だけでなく各章の構成についてもNA全体のアイデアを収集できるようにするため、2014年から2016年の2年間にわたっていくつかの章ごとに発表された。そして私たちは、このNA全体による見直しと意見提供の期間ごとに、世界中のメンバーから提供された意見にもとづいて本の構成を改善していった。それ以外にも、私たちは質問の対象を絞り込んでいくつかのウェブミーティングを開いた。たとえば、30年～40年以上のクリーンタイムがあるメン

バーによるウェブミーティング、地理的に孤立しているメンバーたちによるウェブミーティング、NAが誕生して間もない国や地域のメンバーたちによるウェブミーティングなど、数え上げればきりが無い。

このプロジェクトに対する反響はすば

らしいものだった。先行の意見提供では何百ページにも及ぶ意見が届き、NA全体の見直しのために各章ごとに原稿が発表されると、それぞれについて50～200ページにわたる意見がよせられたのだ。こうしてNA全体から寄せられたアイデアにはワークグループもかなりの時間を割いて目を配ったので、この本が大幅に改善されたと確信している。それも、世界中のNAメンバーから思慮深く創造的な意見提供があったおかげである。

この『伝統』に関する書籍のプロジェクトによってつくられた『ガイディング・プリンシプルス：スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』の承認を求める動議は、圧倒的多数によって可決された。この誕生したばかりの本は、2016年の10月に出版の見込みになっている。

こうして新たに誕生したNA文献によって、新しいメンバーも古いメンバーも、みんながNAの伝統を理解できるようになれば、それぞれの人生でもグループの活動でもNAのサービスのあらゆる場面でも、NAの伝統を活かせるようになるでしょう。それが、私たちの願いにほかなりません。では、みなさんの経験を聞かせていただくのを楽しみにしています。

ワールド サービス カンファレンス 2016

2016年～2018年にわたるプロジェクト

ここに紹介するプロジェクトのいくつかは、インターネット上での（場合によっては、直接顔を合わせての）ワークグループを結成することになるだろう。それ以外は、ワークグループを必要としないか、あるいは少人数によるグループ討議もしくはNAの意見交換の場による意見収集やフィードバックによって完了していることも考えられる。プロジェクトの詳細は、www.na.org/conference にある2016年度カンファレンス アブルーパルトラックの資料に記されている。また、『リーチングアウト』と『NA Wayマガジン』のワークグループにもそれぞれ、新しいメンバーが任命されることになっている。ここで紹介するプロジェクトのどれかに参加してみようという気持ちのある人がいたら、自薦他薦を問わず、Eメール worldboard@na.org でご連絡いただきたい。

- ❖ グループやエリア、イベントで用いるサービスの道具
- ❖ WSCの未来
- ❖ フェロシップディベロップメントおよびパブリックリレーションズ [広報活動] に関するプロジェクトプラン
- ❖ サービスにおける共同作業
- ❖ PRの道具としてのソーシャルメディア
- ❖ 回復に関する文献のプロジェクトプラン（2018年度WSCによる検討に向けて進展）

検討すべき課題

- ❖ サービスにみられる回復の雰囲気
- ❖ テクノロジーとソーシャルメディアにNAの原理を活かすこと
- ❖ 『ガイディング・プリンシプルズ：ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディションズ』の活用法



撮影者： カーラ・W（アメリカ合衆国/ワイオミング）

文献の作成

2016年度のカンファレンス アジェンダ レポートによる調査では、つぎの4つの領域をとりあげた。長編の回復に関する文献、短編の回復に関する文献（ブックレットおよびパンフレット）、サービスに関する資料、「検討すべき課題」である。各地のリージョンではグループの良心をまとめ、メンバーはそれぞれにインターネット上で調査に参加した。調査結果はWSC出席者に配送されるとともに、www.na.org/conferenceに掲載の「サマリー・オブ・ディシジョン [議事録]」に盛り込まれた。

メンバーシップ調査

メンバーシップ調査は、ワールド サービス カンファレンスでの調査表配布とインターネットでの記入とによって行われた。今回は22,808名のメンバーによる回答があり、その大半がインターネットによるものであったが、これまでで最大の参加数となった。この世界規模の調査ではっきりしたことを、いくつか挙げておこう。

- ❖ メンバーの平均年齢は、48才である
- ❖ クリーンタイムの平均年数は、8.32年である
- ❖ 治療の専門家からNAのことを知らされた割合は、46%となっている

このほかにも、私たちはヨーロッパのNAを対象とするメンバーシップ調査を作成した。これは、ヨーロピアン デリゲートミーティング [EDM] との共同作業によるもので、2016年6月の第1回EDMユーロ議会でもEDMによるプレゼンテーションに役立てられた。調査についてさらに詳しく知るには、www.na.org をご覧いただきたい。また、メンバーシップ調査のパンフレットもまもなく最新版が発行されるので、どうかお見逃しなく。

選挙結果

WSC 共同進行役

マーク・B（フロリダ リージョン）

ワールドボード

メアリエレン・P（サザン カリフォルニア リージョン）
タリ・M（ハワイ リージョン）
ハリール・J（ジョージア リージョン）
ホセ・ルイス・A（リージョン・デル・コキ）
ジャック・H（ワシントン/ノー・アイダホ リージョン）
ティム・S（オーストラリア リージョン）

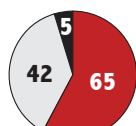
ヒューマン リゾース パネル

ベロニカ・B（スウェーデン リージョン）
ジム・B（シカゴランド リージョン）

2016 数字で見るWSC



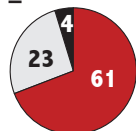
デリゲートと
オルタネイトの
出身国



カンファレンス
に出席した国

40
カ国

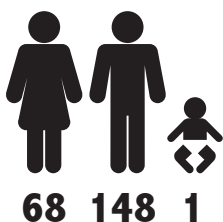
88
オルタネイト
デリゲートの
出席数



■ 合衆国
■ カナダ
□ 合衆国および
カナダ以外の国

「平安の祈り」
を唱えた言語

26
カ国語



出席者の約
50%

が
「カンファレンスの熱病」に
かかった

56*
会議の行われた時間

6.5
日間

1/2 週間を
費やした
議事内容...

20

の持ち越しの議事に
関する動議

提出された16
の修正案

60

新たな議事となる
動議&提案

*食事と休憩の時間は
含まれていません。

おなかに入った食べ物

730
ポンドのフルーツ

864
個のドーナツ

432
個のベーグルと、

31
ポンドのベーグルに
塗られたチーズ

一部の数字は推定によるものです。

ドラフト・サマリー・オブ・ディシジョンズ [カンファレンス議事録] (na.org/conference) とNAWSニュースレター (www.na.org/nawsnews) には、WSCに関する重要なデータが大量に掲載されていますが、データばかりじゃつまらないので、ここでは以下のようなあまり重要ではない情報もお伝えしましょう。

- (私たちが思い出せるなかで) 今回のはじめて、赤ん坊がデリゲートである両親に抱かれてカンファレンスの議場に登場した。
- 正確な人数は把握できてないが、WSCの出席者 (50%) が熱病にかかった。これは、カンファレンスの出席者にも、NAWSのスタッフにも、サービスに関心を持ってWSCに参加していたメンバーたちにも、だれかれおかまもなく熱い議論の虫がとりついたためであった。
- カンファレンス開催期間中に出席者たちが消費したのは、上記の量の食べ物だけにはとどまらない。
- ほかに、会場では11,500種類におよぶNAのグッズや文献が販売され、2,340件ほどの注文があった。

こうして2016年度のWSCに関するこぼれ話も仕入れておけば、雑学コンテストやNAの歴史について真剣に話し合うことがあったときに、物知りぶりを発揮できるでしょう!

WSCの詳細をもれなく知るには、NAWSニュース(www.na.org/nawsnews)と「ドラフト・サマリー・オブ・ディシジョンズ」(www.na.org/conference)をご覧ください。

グループ紹介

NAWayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしています。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いします。宛先は、naway@na.org となっています。



自然のふところで、 回復を楽しむ

毎年恒例の「オウ・クワア・ドウ・ラ・ネイチュア（自然のふところでの）キャンプアウト」は、ケベック市から東へ車で2時間ほど行ったところで開催されるイベントです。参加者の数も着実に増えて、5回目となる今年7月末の開催には50～60人の参加があるでしょう。美しい湖のほとりに集まって和やかに楽しく過ごすイベントなので、みなさんもぜひご参加ください。では、よい一日になりますように。

ドン・B（カナダ/ケベック）





キャンプファイヤーを ミッド・アメリカ 囲んで

2016年度のミッド [中部] アメリカ リージョナル キャンプアウト (7月1日~4日) が迫るにつれて、昨年の記憶がゆるやかに浮かび上がってきた。2015年度のこの (参加費無料の) キャンプアウトは、7月3日~5日にクリントン・レイク [湖] で開催された。晴天に恵まれて、気温もまずまず。カンザス州北東部の真夏にお決まりのうだるような暑さから、参加者が一息つくにはもってこいだった。ちなみに、2014年で思い出すことといたら、一つしかない。ジウシチネンゼミ* [訳注: 北米で17年ごとに大量発生するセミ] の大発生だ。みんなのテントから抜け殻を放り出す間もなくセミが「続々と誕生する」うえに、大音響でひっきりなしに求愛する雄ゼミの鳴き声で俺たちは会話もままならなかった。

そして昨年とはいうと、金曜の夜の参加人数が過去最高を記録した。これじゃ土曜の夕食には食料がまにあわないんじゃないか、と実行委員たちが心配になったくらいだから、翌日の土曜は朝から晩まで、湖の中や湖上や湖の周辺で、いろんな楽しみ方をしようとする人たちが湖に通じる道がにぎやかだった。土曜の夕方には、「グリズルド リカバリーミーティング」が開かれ、分別のある話がわかちあわれた (グリズルドは「白髪交じりの」、つまり30年以上のクリーンタイムを持つメンバーたちのこと)。そして結局は、食べ物もまかないもうまくいった。170人分の食事が手際よく提供され、それでも2回や3回おかわりできるくらいたっぷりあった。それから、土曜の夜のお待ちかね、MP3による音楽でダンス。ナラノンの参加もありがたかった。

NAでは、ウチのリージョンの仲間たちに加えて、カリフォルニア、イリノイ、ケンタッキーからも仲間の参加があり、みんな来てよかったという感想を述べてくれた。まあとにかく、2015年度のMARC [ミッド・アメリカ・リージョナルキャンプアウト] は大成功だった。あのとき、何人かのメンバーがそれぞれに振り返って思うことを俺に話してくれたので、名前、クリーンタイム (2015年7月時点)、ホームとなる州を添えて、ここに紹介してもらった。

フロー (13年、カンザス) はこの日、刑務所行きにならずにすんだことを感謝していた。「朝の4時に、保安官事務所から知らせがあって、あたしの車の特徴と一致する車両がひき逃げにかかわっ

たて言うのよ。でも、何枚か写真を撮られたけど、そのまま仲間のいるキャンプに残ってあたしのことを思いやり (からかいもする) 友人たちと一緒にいられたの」

ジョー (2年と4ヶ月、カンザス) の話。「昔のオレは反抗ばかりしてたから、いずれ投獄されるのが落ちだった。でも、塙の向こう側でスポンサーと出会ったことで、今じゃオレもH&Iのサービスをやらせてもらってるってわけさ」

ブレナン (5年、イリノイ) は、感謝の気持ちをわかちあってくれた。「回復の道を歩んでいけば、ぼくは独りじゃないし、どこへいってもNAという大家族のなかでいるんな仲間と一緒に過ごせるんだ。このイベントに集まった仲間はみんな、『サイコー』だよ」

トレイシー (2年と11ヶ月、カンザス) がMARCに参加するのは、今回で5回目となった。「わたしは今を生きて、いいことも悪いことも、ありがたく受け止めているわ。そうすれば人生をまるごと楽しめるもの」

ディブ (28年、カンザス) は、これまでリージョンのキャンプアウトに10回以上参加したという。「私はここで、新顔に出会えるのがすごくうれしいんだ。そして、私にはすばらしい妻がいるし、NAの仲間たちがいて、スポンサーシップがある。それもみんな、ハイパーパワーのおかげだと感謝しているよ」

ロザリー (4年と10ヶ月、カンザス) は、リージョンのキャンプアウトに参加するのは2回目となった。「わたしは、回復の道を歩むなかで真の友情に恵まれたことに感謝している。このキャンプアウトでは、スピーカーたちの話がよかったわ」

キム & ロブ (7年 / 7年 と 6ヶ月、カリフォルニア) は、ふたりしてNAにたどりついた。「俺たちの娘がカンザスの州立大学の新生説明会に出席するっていうから、俺と妻はこのキャンプアウトにやってきたんだ。こうやって旅をして、国のあちこちからやってきた回復の道を歩むアディクトたちと一緒に過ごすっていうのは、本当にいいもんだよ」

リッチ (2年 と 6ヶ月、カンザス) は、なんと、ホースシューズ・トーナメント [蹄鉄投げ競技の総当たり戦] を勝ち抜いた。「これは、ハイヤーパワーへの信頼と、NAのキャンプアウトによっておれの回復を支えてくれるグループができたおかげさ。ホントにありがたい」

ベグ (31年、カンザス) は、このキャンプアウトに参加して20年以上になるが、ペット持ち込み禁止令が実施されたときにキャンプすることはやめた。「わたしは、NAにも長年にわたって親しくしてきた仲間たちにも感謝しているわ。キャンプファイヤーを囲んでのミーティングもいいものよ。でも、煙にアレルギー反応を起こしてからは、ダメ。あのときのキャンプファイヤーには、ツタウルシがくべられていたのよ！」

ベッキー (14年、ケンタッキー) の話。「あたしは、ハイヤーパワーとのスピリチュアルなむすびつきがあるし、このリージョンのキャンプアウトで出会う仲間とは必ず心が通じ合う。そのことに、感謝しているわ」

トニー (8年 と 6ヶ月、カンザス) は、娘をこのキャンプアウトにつれてきてよかったと言っていた。「ここなら回復の道を歩む仲間たちの子どもらと遊べるし、その間は娘の心配をしなくていいからね。NAのイベントが安全であることに感謝しているよ」

ジョン (30年、カンザス) は、キャンプアウトはよその州からやってくる仲間とつきあういい機会だと言っていた。「ただし、自分たちのイベントによそから参加してほしいと思うなら、自分たちもよそのイベントに行かなくちゃな」

シェリー (168日、カンザス) は、こんな話をしてくれた。「あたしは生きてよかったと思うわ。ものごとをむずかしくせず、ほかの人との共通点に注目していたら、回復の道に踏み出す前のおそれや喪失感をやわらげることができたわ。今はサービスによって、まだ苦しんでいるアディクトの人生に希望の種を植え付けていきたいって思ってるの」

KC (10年、カンザス) は、思う。「ミッド・アメリカ・リージョナル・キャンプアウトの一番いいところは、なんとって「参加費無料」ってことだよな。だから、おれはこのキャンプアウトのために無料奉仕をしてるんだ」

Get connected with NA eLit and Apps!

Apps

NA Meeting Finder

(includes daily *Just for Today* reading)

NEW!! Recovery Companion App

A companion app to support recovering addicts in daily life. Includes IP #9, *Living the Program*; JFT meditations; cleantime calculator; meeting locator; and group reading cards; and tools to help contribute financially to NA, call your sponsor, and read NA literature... and much more.

Available on:



Amazon: <http://tinyurl.com/j3r9nd7>

Google Play: <http://tinyurl.com/p94vkby>

iTunes: <http://tinyurl.com/o74swbr>

* This does not constitute endorsement of/affiliation with these vendors.

eLit

Available on Amazon, Google Play, & iTunes*

Narcotics Anonymous

(Basic Text, Sixth Edition)

It Works: How and Why

The NA Step Working Guides

Sponsorship

Living Clean:

The Journey Continues

The NA Step Working Guides

An interactive version on iTunes

Amazon: <http://tinyurl.com/ph5kl5k>

Google Play: <http://tinyurl.com/ngmez35>

iTunes: <http://tinyurl.com/harwjo4>

フェローシップ ディベロップメント

カナリア諸島の成長

カナリア諸島のナルコティクス アノニマスが「成長しようと七苦八苦する」なかでもたらされることになった深い教訓は、私たちと同じくヨーロッパ デリゲート ミーティング [EDM] に属するほかのNAにも大いに役立つものではないかと思う。そこで、この場をお借りして、スペイン領の4つの島々に散らばった7つのグループからなる小さなNAが苦労して得た経験をお伝えしよう。

10年以上前に、スウェーデンからこのプログラムを持ってきてくれたアディクトたちのおかげで、カナリア諸島にはNAによる回復の道が開かれた。گران・カナリア島でゆっくりと成長していったNAには、グループが次々と誕生し、近隣の島々にも散らばっていった。エリアの委員会ができてスパニッシュ [スペイン] リージョンと連絡を取るようになると、8つのグループによって120人ほどのアディクトが回復の道を歩むNAには、実にきちんとしたサービス機構ができあがった。そして、このカナリア諸島にできたエリアは、スペインリージョンにおける成長モデルとなった。最寄りのグループまで飛行機で2時間を要する7つの島々からなるNAがさまざまな困難に対応してきたという事実は、やはり無視できないことなのだ。

そのうちに、このエリアのサービス機構はどんどん複雑化して、やる気のある奉仕を任せられたしもべたちの興味をそそるものになっていった。ASCでサービスに打ち込むことで、H & Iの活動が非常にうまくいき、ほかの島々でのフェローシップ ディベロップメントはやりがいのある取り組みとなった。すると、いつしか経験豊富な奉仕を任せられたしもべたちはほかのことに手が回らなくなってしまい、8つのグループによるサービス機構は支障をきたすようになった。「ものごとをむずかしくしないように心がける」ことを、私たちは忘れていたのだ。やがて、回復の雰囲気は薄れて小さな衝突を繰り返すようになったが、メッセージを運ぶのを急ぐなかでうやむやにされ、ついには原理より個人が優先されるようになってしまった。ときには、思いが先走って

伝えるべきことが明確でないのに、それもメッセージを運ぶことだというお墨付きを得るために伝統を引き合いに出すということまでしたのだ。

そうこうするうちにカナリア諸島のNAではメンバーの数が減少していき、このままではサービス活動もままならないということでエリア サービス委員会は解散となった。NA存続の危機に陥って、私たちはもはや現実に目をつぶっているわけにはいかなかった。なにしろ自分たちが結成したエリア サービス委員会は、グループを支援するどころか、グループの回復に影を落とす原因になってしまったのだ。つまり、エリア サービス委員会が巨木のように肥大したことによって、グループには成長をはぐくむ光が降りそそいでこなくなったというわけだ。

私たちは今、こつこつ取り組んでいるところであり、それによってなんとかカナリア諸島のどのグループにも以前のような愛情あふれる回復の雰囲気を感じられるようになった。それまでには何回か棚卸を行い、助けを借り、恨みや辛みは捨て去った。徐々に回復の道を歩むアディクトの数は再び増えつつあり、私たちはものごとを複雑にしないように努力している。そして、私たちは学んだ。NAのミーティングでアディクトからアディクトへと満ちていく愛は、全国放送のテレビの宣伝キャンペーンに優るのだ。理由はいたって単純で、NAの伝統を

思い出せばわかる。つまり、これから招き入れようとするアディクトがNAに回復の雰囲気を感じ取れなければ、広報活動などしても無駄なのだ。そしてまた、背伸びをしなければ、私たちはサービス機構を使いこなしていけることも学んだ。私たちのような駆け出しのNAには、ものごとを複雑にしないように心がけ、とにもかくにも回復の雰囲気を優先するのがいちばんだ。そうすれば、あとは愛が導いてくれるだろう。

セバスチャン (カナリア諸島)

EDM [ヨーロッパ・デリゲート・ミーティング] ニュースより転載



RRCNA 25周年記念

ロックリバー・エリア・グループ・サービス [RRAGS] による年一回のコンベンションは25周年を迎えたことで、過去を懐かしみつつ成長を喜び、たくさんのハグが交わされる週末となった。RRAGSは、イリノイ州北部にある11の市や町（多くがウィスコンシンとの州境に隣接）のNAグループによるエリアサービス委員会で、ウィスコンシンリージョンに所属している。このエリアで毎週開かれるミーティングの数は100になるかならないかというところだ。ちなみにRRAGSのRR [ロックリバー] は、ウィスコンシン州中南部とイリノイ州北部を蛇行して流れる川の名前からつけられた。

25周年を祝うコンベンションで見物【みもの】となったのが、金曜の夜の「バグス」というビーンバッグ投げのトーナメント。これは勝ち残り

式のトーナメント戦で、15チームが2時間近くにわたって競いあった。1等賞、2等賞、3等賞に輝いたチームにはそれぞれ、土曜夜のコンベンション・ディナー券や日曜朝のランチ券のほか、これまでRRCNA [ロックリバーNAコンベンション] で開かれたメインスピーカーミーティングやワークショップの無料スピーカーCDのうち1枚が、賞品として贈られた。

写真で紹介したゲーム盤は、エリアに属するひと握りのアディクトが15~20時間におよぶ作業に没頭して完成させたもので、RRCNAに寄贈された。全部で9枚あり、それぞれにRRCNAのロゴやテーマ、NA文献、NAのサービスシンボル、NAのロゴなどがかたどられ、どれも一点もののデザインになっている。これは9枚1セットで、コンベンションの土曜夜のオークションにかけられて約1,000ドルの高値がつき、RRCNAの費用をまかなうために役立てられた。

ウィリアム・C (アメリカ合衆国/イリノイ)



イリノイ州のロックフォードとフリーポートにあるNAグループと、ウィスコンシン州のペロイト、ジェーンズビル、フォートアトキンソン、ミルトンにあるNAグループは、1982年の11月に「サザンウィスコンシン・アンド・ノーザンイリノイ」というエリアサービス委員会を結成した。この名称は1983年3月に「ロックリバー・エリア・ジェネラル・サービス」と変更されたのち、1986年2月に「ロックリバー・エリア・グループ・サービス」となった。



撮影者： プレット・L (アメリカ合衆国/イリノイ) & ジャナ・B (同/ウィスコンシン)

NAでは現在、毎週139カ国で開かれる67,000におよぶミーティングで80の言語が話されている。私たちは49の言語によるNA文献を発行し、世界中のNAに無料もしくは差額支援（割引）による提供も続けている。『ベーシックテキスト』はタイ語版が誕生したことにより、出版言語は29種類となった。今年の夏にはデンマーク語による『ベーシックテキスト』第6版が出版され、現在、スワヒリ語による『ベーシックテキスト』第5版の制作が進められている。また、2016年度のワールド サービス カンファレンスが開催されるまでの2年間には、各国の文献翻訳委員会との共同作業によって音声録音版『ベーシックテキスト』がつくられた。これはデンマーク語、ロシア語、スウェーデン語につづいて、アラビア語版がまもなく発行になる。なお、『IP#1』はアラビア語、エストニア語、カナダ語、ウクライナ語による翻訳版が新たに加わり、49の言語に翻訳されている。

NA ワールドユニティデー

2016年9月3日 午前10時(太平洋夏時間)*

正直さ、信頼、そして善意があれば、私たちのサービスへの取り組みはゆるぎないものになる。

『NAのサービスにたくす未来』

正直さ、信頼、善意によって私たちは手をたずさえ、世界中の仲間やまだ苦しんでいるアディクトのことをじっくり考えてみようとする。このNAがひとつになる日には、世界中のメンバーがみんな『平安の祈り』となえる。それにあわせてイベントを開くもよし、仲間と一緒にいるもよし、あるいはひとり静かに過ごすのもよいかもかもしれない。電話回線もなく、盛大なイベントもないが、しばしの祈りをささげよう。



※太平洋夏時間にあわせるのは無理だという場合には、9月3日のある時点に(できれば、ミーティングのときに)黙とうして祈りながらNAの熱い思いを共有し、正直さ、信頼、善意によってNAが心をひとつにすることから生まれる愛を感じよう。

ユニティデーの世界時間表示例



さらに詳しい情報については、
ウェブサイト www.na.org/nawsevents または 電話818-773.9999でご確認ください。



CALENDAR

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Canada

British Columbia 6-8 Oct 2017; Pacific Northwest Convention 40; Hyatt Regency Vancouver, pnwcn40.com

Quebec 19-21 Aug; Au Bord du Rétablissement 2; Camping de la Seigneurie, Pabos; www.naquebec.org

2) 7-9 Oct; Quebec Regional Convention 29; Best Western Plus Hotel Universel, Drummondville; www.crqna.org; www.crqna.org/en

Denmark

Skandeborg 5-7 Aug; Convention & Campout 9; Audocicon, Skanderborg; namidtjylland.dk/konvent

Egypt

South Sinai 21-24 Sep; Let's Go!/بلا بينا; Tolip Taba Resort & Spa/فندق تيوليب طابا, naegypt.org

Germany

Berlin 9-11 Sep; Berlin Convention; Statthaus Bocklerpark, Berlin; na-berlin.de

Greece

Corfu 28-30 Oct; From Darkness to Light; Ionian Park Hotel, Corfu; event info: es12gccna@gmail.com

Honduras

San Pedro Sula 16-18 Sep; Honduras Regional Convention 4; Hotel Clarion, San Pedro Sula; nahonduras.org

India

Himachal Pradesh 8-10 Sep; Chandigarh Area Convention 5; Hotel Out Town/Trishul/Apple Resort/Khusboo, Manali; speaker tape deadline: 1 Sep; facebook.com/nacca5

Japan

Hokkaido 2-4 Sep; Japan Regional Convention 12 Spirit of Unity; Hokkaido Seisyonen Kaikan Compass, Sapporo; najapan.org/jrcna

Lithuania

Palanga 26-28 Aug; Baltic Convention 14; Hotel Zilvinas, Palanga; naconvention.lt

Mexico

Baja California 14-16 Oct; Baja Costa Area Convention; Gamma by Fiesta Inn, Tijuana; facebook.com/convbajacosta

New Zealand

Christchurch 21-23 Oct; Aotearoa New Zealand Regional Convention; Polytechnic Institute of Technology, Christchurch Central; nzna.org

Puerto Rico

San Juan 5-7 Aug; Puerto Rico Regional Convention 27; Condado Plaza Hilton, San Juan; prna.org

Sweden

Stockholm 25-27 Aug 2017; Sweden Regional Convention 30; Fryshuset, Stockholm; nasverige.org

Turkey

Fethiye-Mugla 21-23 Oct; Turkey Regional Convention 14; Jiva Beach Resort Hotel, Fethiye-Mugla; na-turkiye.org

United States

Alaska 28-30 Oct; Alaska Regional Convention 32; Wedgewood Resort, Fairbanks; akna.org/convention.htm

Arizona 30 Sep-2 Oct; Productive Members of Society Women's Oriented Retreat; Whispering Pines Camp, Prescott

California 12-14 Aug; Napa/Solano Spiritual Co-ed Campout 12; Orchard Springs Resort, Chicago Park (Grass Valley); <https://drive.google.com/file/d/0B7171fhCi2LsbEEweHZ6Qlo3MTg/view?pref=2&pli=1>

2) 2-4 Sep; Biggest Little Area in the World 11th Step Retreat 4; Belden Town Lodge, Belden; eleventhstepretreatblaw916@yahoo.com

3) 7-9 Oct; Sisters in Serenity Women's Retreat 20; Mendocino Woodlands, Mendocino; naosoil2@yahoo.com

4) 21-23 Oct; Western Service Learning Days 30; Town and Country Resort & Spa, San Diego; sandiegona.org

Colorado 28-30 Oct; Colorado Regional Convention 30; DoubleTree, Colorado Springs; nacolorado.org/crcna

Florida 5-7 Aug; North Dade Area Convention; Deauville Beach Resort, Miami Beach; northdadearea.org

2) 26-28 Aug; First Coast Area Convention 15; Lexington Riverwalk, Jacksonville; firstcoastna.org

3) 2-5 Sep; South Florida Regional Convention 22; Deauville Beach Resort, Miami Beach; sfrca.com

Georgia 4-7 Aug; Midtown Atlanta Area Convention 25; Renaissance Concourse Airport, Atlanta; midtownatlantana.com

2) 28-30 Oct; Savannah Low Country Area Convention; Ramada Inn, Pooler; nasavannahga.org

Hawaii 27-30 Oct; Hawaii Regional Convention 24; Sheraton Kona Resort & Spa Keauhou Bay, Kailua Kona; na-hawaii.org

Illinois 25-28 Aug; South City Area Convention 9; Hyatt Regency McCormick Place, Chicago; southcityareana.com

2) 30 Sep-2 Oct; Lake Borderline Area Convention; Hyatt Regency, Deerfield; chicagona.org

3) 28-30 Oct; Joliet Area Convention; Clarion Banquet & Convention Center, Joliet; chicagona.org

4) 11-13 Nov; Greater Illinois Regional Convention 20; Wyndham City Centre, Springfield; centralillinoisna.org

Kentucky 23-25 Sep; Bluegrass Appalachian Regional Convention 7; Jenny Wiley State Resort Park, Prestonsburg; barcna.com

Maryland 16-18 Sep; Tri-County Area Unity Retreat River of Hope 10; Lions Camp Merrick, Nanjemoy; cprna.org

Massachusetts 12-14 Aug; Western Mass Area Convention 16; Marriott, Springfield; wmacna.org

2) 8-9 Oct; Unity Day Basketball Tournament 5; YMCA Central Community Branch, Worcester; nerna.org

Michigan 12-14 Aug; R&R at the Fort; Camp Fort Hill, Sturgis; michigan-na.org/sw_michigan

2) 13 Aug; First Blue Water Area Convention; Blue Water Convention Center, Port Huron; michigan-na.org/blue_water

Mississippi 7-9 Oct; Mississippi Regional Convention 33; Holiday Inn Express, Vicksburg; mrscna.net

Missouri 9-11 Sep; Spirit Quest Campout 4; Water's Edge on Table Rock Lake, Kimberling City; dhoma1953.org

Nevada 7-9 Oct; Region 51 Regional Convention; The Orleans Hotel, Las Vegas; region51convention.org

2) 4-6 Nov; Sierra Sage Regional Convention 21; Grand Sierra Resort, Reno; sierrasagena.org

New Jersey 12-14 Aug; New Jersey Regional Convention 31; Westin at Forrestal Village, Princeton; njrcna.com
2) 26-27 Aug; Miracles at the Shore Speaker Jam; West Park Recreation Center, Oakhurst; cjasc.org
3) 28-30 Oct; Northeast New Jersey Area Convention 20; Renaissance Woodbridge Hotel, Iselin; nanj.org/njconventions.shtml
New York 5-7 Aug; It's Another Recovery Campout; Sprague Brook Park, Glenwood; hopeshot123@gmail.com
2) 26-28 Aug; ABCD Regional Convention 8; Albany Hilton, Albany; abcdma.org
3) 2-5 Sep; Recovery in the Woods 28; Pioneer Camp & Retreat Center, Angola; nawny.org
4) 7-9 Oct; First Queens Area Convention; LaGuardia Plaza Hotel, East Elmhurst; qacna.org/home
5) 28-30 Oct; Western New York Regional Convention 21; Byblos Niagara Resort & Spa, Grand Island; nawny.org
Ohio 7-9 Oct; 12 Step Spiritual Retreat 29; Tar Hollow State Park, Laurelville; naohio.org
Pennsylvania 9-11 Sep; Ain't No Mountain High Enough 12; Gennitti Hotel, Williamsport; williamsportna.org
2) 10-13 Nov; Start to Live Tri-State Regional Convention 34; Bayfront Convention Center, Erie; starttolive.org

South Carolina 5-7 Aug; Welcome Home Convention 21; Holiday Inn & Suites, Columbia; midcarolinana.org
2) 11-13 Nov; The Journey Continues 5; Hyatt Place & Hyatt House, Charleston; portcitynaconvention.com
South Dakota 6-14 Aug; Sheridan Lake Campout 22; Squirrel Campground, Hill City; sdna.com
2) 9-11 Sep; South Dakota Regional Convention; Best Western Plus Ramkota, Sioux Falls; sdna.com
Texas 30 Sep-2 Oct; Frolic in the Woods 25; Garner State Park, Concan; eanaonline.org
Vermont 18-21 Aug; Back to Basics Campout 32; Wallingford Boys Camp, Wallingford; gmana.org
Virginia 5-7 Aug; Almost Heaven Area Convention; 4H Educational Center, Front Royal; http://Na2day.Tripod.com
2) 2-5 Sep; Marion Survivor's Group Campout; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; 276.646.8462
Washington 6-9 Oct; Men's Night Out Men's Gathering 23; Brooks Memorial Environmental Learning Center, Goldendale; http://3citiesna.org/
2) 21-23 Oct; Pacific Northwest Convention 39; Bellevue Hilton, Bellevue; wnima.org/events
Wisconsin 14-16 Oct; Wisconsin State Convention 33; Holiday Inn, Manitowoc; wsnac.info

NAWS Product Update

2016 Versions

NA: A Resource in Your Community

Item No. 1604 Price US \$0.40/0.37 €

IP No. 28, Funding NA Services

Item No. 3128 Price US \$0.35/0.31 €

2015 Membership Survey

Item No. ZPR001001 Price US \$0.30/0.27 €

European Membership Survey

Item No. ZPR001101 Price US \$0.30/0.27 €

Information about NA

Item No. ZPR001002 Price US \$0.30/0.27 €

2016 Banners

World Regional Meetings Map

Item No. 9090 Price US \$77.45/65.90 €

Item No. 9091 Price US \$47.45/40.30 €



Literature Timeline

Item No. 9095 Price US \$98.20/83.50 €

Item No. 9096 Price US \$60.10/51.05 €

New Special Bundles @ reduced prices Just for Today Collector's Edition & Calendar

Item No. 1115B Price US \$33.00/26.00 €

30th Anniversary Basic Text & JFT Journal

Item No. 1103B Price US \$43.00/36.00 €



Just for Today Collector's Edition & JFT Journal

Item No. 1115B2 Price US \$39.00/31.90 €





Danish

6th Edition Basic Text
Narcotics Anonymous

Item No. DK-1101 Price US
\$11.55/10.00 €

Hindi

Just for Today

सिर्फ आज के दिन

Item No. HI-1112 Price US \$9.00/7.90 €



Russian

*Доверенные Служители
Группы: Роли и
Обязанности*

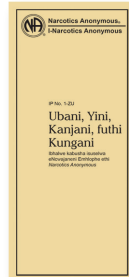
Item No. RU-2203 Price US \$0.24/0.21 €



Zulu

*Ubani, Yini, Kanjani,
futhi Kungani*

Item No. ZU-3101 Price US \$0.24/0.21 €



Japanese

もうひとつの^{みかた}見方

Item No. JP-3105 Price US \$0.24/0.21 €

今日^{きょう}だけ

Item No. JP-3108 Price US \$0.24/0.21 €

スポンサー^{かた}シップ

Item No. JP-3111 Price US \$0.24/0.21 €

自分^{じぶん}を 受け^う入れる^いこと

Item No. JP-3119 Price US \$0.24/0.21 €



Coming Soon

“Guiding Principles: The Spirit of Our Traditions”

available in October in hardcover and softcover

Our Twelve Traditions are a set of guiding principles for working together. NA's newest Fellowship-approved book contains tools, text, and questions meant to facilitate discussion and inspire action in our groups, in workshops, and in sponsorship. This book is a collection of experience and ideas on how to work through issues together, using the principles embodied in the Twelve Traditions of NA.

Regular editions

Item Nos. 1201 & 1202 Price US \$11.00/9.70 €

A special edition will be available late fall/winter 2016 with quantity limitation applied to all orders.

Special edition

Item No. 1203 Price US \$30.00/26.50 €



Korean

다른 관점으로 바라보기

Item No. KO-3105 Price US \$0.24/0.21 €

어느 중독자의 수용,
신념 그리고 약속전념에
관한 경험

Item No. KO-3114 Price US \$0.24/0.21 €



Indonesian

Basic Text (5th Edition)

Narkotik Anonimus

Item No. ID-1101 Price US \$7.90/6.90 €



Portuguese (Brazil)

*Uma introdução
às reuniões de NA*

Item No. PB-3129 Price US \$0.24/0.21 €

